



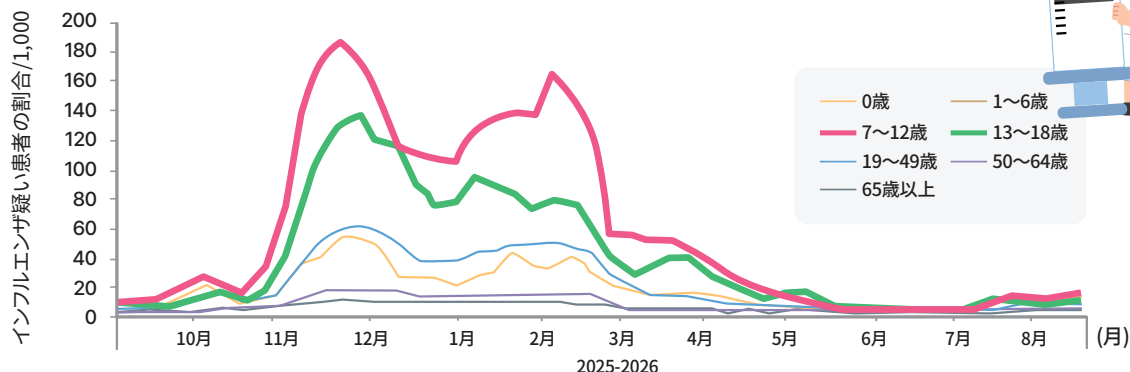
慶尚南道 学生感染症だより



第26-03号 (2026年第3四半期)

新学期の呼吸器感染症、みんなで予防しましょう

インフルエンザはいつ流行するのでしょうか？



インフルエンザは主に冬・春に、学齢期（7～18歳）を中心に患者が急増します。流行開始前（10～11月）



出典：疾病管理庁、感染症標本監視週間ニュースレター第34週（2026.8.27.）を基に再構成

インフルエンザ予防接種、今年から14歳まで対象拡大！

中学2年生まで無料接種

(2012年1月1日～2026年8月31日生まれ)



うちの子の予防接種はいつ？

接種対象者	接種期間
2回接種対象者	2026年9月21日(月)～2027年4月30日
1回接種対象者	2026年9月21日(月)～2027年4月30日

※ これまでの接種歴がない、または1回しか接種していない9歳未満のお子さんの一部は2回接種対象です

予防接種はどこで受けられますか？



お近くの委託
医療機関およ
び保健所

予防接種情報サイト
(<https://nip.kdca.go.kr>)



「学生感染症だより」満足度・ご意見アンケート

「1分で完了！5つの質問にお答えいただき、より充実した情報作りにご協力ください」
今すぐQRコードをスキャンしてご参加ください！



百日咳、誰が多くかかっているのでしょうか？



百日咳患者の10人中8人以上が学齢期！

最近の百日咳は、これまでと異なり、学齢期の青少年（7～18歳）を中心に流行する傾向があります。✱



学齢期の青少年(7～18歳) **84.6%** (44,534人)

7～12歳
小学生



44.3%
(23,320人)

13～18歳
中・高校生



40.3%
(21,214人)

出典：疾病管理庁(2025)「国内百日咳発生動向及び疫学的特性（2024-2025年上半期）」週刊健康と疾病, 18(43), 1631-1651.
を基に再構成

感染経路

飛沫、呼吸器分泌物

主な症状

1. 初期：風邪に似ている（感染力が高い）



2. 発作期：激しい咳が繰り返される

ヒューヒューという
吸気音 (whoop)



3. 回復期：数週間にわたり咳が続く



咳が徐々に減少する

百日咳確定後も咳が続いていますが、登校できますか？

適切な抗菌薬の投与開始から5日が経過していれば登校可能です
(その後は医療機関に相談のうえ、登校の可否を決定してください)

予防接種

11～12歳でのTdap
追加接種が推奨されます

呼吸器感染症予防のための5つの予防ルール



咳エチケットの
実践



正しい手洗いの
習慣化



洗っていない手で
目・鼻・口を
触らない



室内をこまめに
換気する



発熱や呼吸器症状が
ある場合は医療機関
を受診し、適切な診療
を受ける